

8月30日は「戦争法案廃案！安倍政権退陣！国会10万人・全国100万人行動」へ！

戦争させない・9条壊すな！ 総がかり行動通信

No. 14

2015年8月13日

戦争させない・9条壊すな！
総がかり行動実行委員会/発行
<http://sogakari.com>

「戦後70年」—反戦反核の決意を新たに



8.6木曜日国会前集会に3000人



「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」は、8月6日、12回目の木曜日国会前集会を開催、約3000人の人々が参加しました。

広島への原爆投下から70年。安倍首相は式典あいさつから「非核三原則」を消し去りました（批判にあわてて長崎では言及）。「核ミサイル輸送も法文上は可能」という防衛相の答弁も含め、現政権の態度は明白です。

この日はNPO法人「自立生活サポートセンター・もやい」理事で、また被爆二世でもある稲葉剛さんが連帯のあいさつ。貧困家庭出身者から戦争に動員される「経済的徴兵制」を、社会保障制度破壊と労働法制改悪によって安倍政権は現実に整備していることを指摘。また、被害や加害の歴史をしっかりと継承していくことが、新たな戦争への道を食い止める力となるだろうと述べました。

各種の世論調査でも、安倍政権の支持率はどんどん下降を続けています。この8月、私たちがどれだけがんばるのかが、情勢を大きく動かしていくことになります。全国各地でよりいっそうとりくみを強化しながら、戦争法案廃案・安倍政権退陣を実現しましょう！

8.11 都内各所で一斉街頭宣伝行動

この間、総がかり行動実行委員会として、毎週火曜日の18時から19時を基本に、都内各所での街頭宣伝行動を行っています。8.30大行動のチラシもよく受け取られています。戦争法案の行方に対する、街行く人びとの関心の高まりを感じます。

ぜひご参加・ご協力をお願いします。行動の場所は毎回変更などがありますので、ウェブサイトやお電話でご確認をお願いします。

(写真は上野駅マルイ前でのとりくみの様子)



警察の過剰警備に抗議し、改善を要求する申し入れを行いました

8月10日、総がかり行動実行委員会は麹町署を通じて、警視庁に対し、国会周辺での抗議行動に対する過剰警備に抗議するとともに、改善を要求する申し入れを行いました。私たちは「言論・表現の自由」に基づく諸行動への不当な抑圧・介入については断固として抗議しながら、ときの権力の横暴に抗する一大共同行動の実現に向け、これからも全力でとりくんでいきます。

この間の警察当局による国会周辺での行動に対する過剰警備に関する申し入れ

戦争法案に反対する抗議行動の高まりのなかで、警視庁の警備警察官の対応について、容認しがたい事例があるので、文書をもって、改善方申し入れる。

全体として、この間の国会周辺で行われている抗議行動の参加者に対する警察の対応における過剰警備と横暴は目に余るものがある。とりわけ、「安全」を名目に実行される国会議事堂周辺の地下鉄の駅の出入り口などの規制と、一方通行や大幅迂回などの歩道の通行規制は、年配者や障害をもったひとへの配慮に欠け、また高圧的かつ不必要なもので、人権上容認しがたいもの、なかには生命の危険にまで及びかねない事例がみられる。

以下、例をあげて事態の改善を要求する。

7月16日、正午過ぎ、抗議のひとが集まる国会正門前北庭側角の歩道上に、警察は鉄柵を配置した。狭い歩道上に設置された鉄柵は参加者および歩行者にとってたいへん危険なものであり、通行を確保するなら通例のようにコーンで十分だと抗議した。のちほど、鉄柵は撤去されたが、その後、通行になんらの支障は見られなかった。

7月16日、総がかり行動実行委員会は正門前で午後の座り込み行動を終え、一旦、散会した。その際、正門前交差点を警官隊が鉄柵で一方向的に閉鎖し、平穩に帰路につこうとした参加者の交通を妨害した。実行委員会は、麹町署の警備課長らにこの封鎖は不必要で、いたずらに混乱を引き起こすだけであることを申し入れ、封鎖は解除された。

参加者は交差点を渡り始めたが、そのなかの年配の女性が体調を崩し、道路に倒れ込んだ。すると警察官がその女性を無理やり引きずり回したので、実行委員会は「病人を動かすな」と抗議した。間もなく医療関係者が駆けつけてきたが、その間中も、警察が女性を手荒に動かそうとするので、参加者は女性を囲み警察官ともみ合いになった。警視庁の腕章を着けた私服警官が、女性をまもろうとした実行委員の腕をねじり上げて、女性から引きはがそうとした。抗議のなかで、女性は医療関係者にまもられ、実行委員会の救護車に運ばれて休息した後、付き添いの人と共に

帰宅した。結果として、危険な事態にならずに済んだ。麹町署の警備課長は実行委員会の責任者に対応の間違いを謝罪した。実行委員会は課長だけでなく、この警視庁の刑事に、役職と名前を名乗ること、警察が病人を勝手に動かそうとする危険、救助しようとした実行委員に暴力的に対応したこと、などについて抗議し謝罪を要求したが、この刑事は最後まで無言を通した。

7月26日の国会包囲行動では、正門前の横断歩道は常時通行可能とされ、また南庭角の歩道を鉄柵で遮断することはなかったが、現場は何らの混乱も見られなかった。

26日午後の抗議行動の際、内閣府の脇道（迂回路）の日陰で直射日光を避けて休んでいた年配の参加者を、第八機動隊の米山警部補指揮のもと、日向（ひなた）に排除したので、実行委員会の整理・誘導担当者らが抗議した。米山警部補は「日向で人が倒れたとしても、こんな時間にやる主催者が悪い」と暴言を吐いたため、これも抗議した。実行委員会は麹町署の責任者にも抗議し、通路を確保すれば、脇道に人がいても（当然のことながら）問題ないことを確認した。

これらの事例に見られるように、この間の警備警察の対応が、憲法21条などに保障された言論表現の自由など、市民の基本的な人権の保障に責任をおう立場からではなく、高圧的で、ただ単に上から管理することのみに集中している。これは極めて異常であり、遺憾なことだ。主催者は、戦争法案に反対する一連の行動を参加者に重大な事故がなく、無事、遂行されることを願って責任をもって、心を砕いているのであり、今回のような警察の対応によって、もしも人命に関わるような事態が引き起こされるなら、警備警察の責任は重大である。

実行委員会は今後、こうしたことがふたたびくり返されないことを強く要請する。

2015年8月10日

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

《戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会の行動予定》

国会情勢などによって変更や追加がありますので、総がかり行動実行委員会ウェブサイト (<http://sogakari.com>) をご覧いただくか、連絡先までお電話でお問い合わせください。

8月18日(火) 一斉街頭宣伝行動 ※都内では実行委員会が18:00~19:00ころにとりくむ予定です

8月20日(木)18:30~ 戦争法案反対国会前集会(連続行動第14回) 場所:衆議院第2議員会館

8月25日(火) 一斉街頭宣伝行動 ※都内では実行委員会が18:00~19:00ころにとりくむ予定です

8月26日(水)18:00~ 日弁連主催・安保法制等の法案に反対する日比谷野音大集会&パレード

8月27日(木)18:30~ 戦争法案反対国会前集会(連続行動第15回) 場所:衆議院第2議員会館

8月30日(日)14:00~ 戦争法案廃案! 安倍政権退陣! 8.30国会10万人・全国100万人大行動

連絡先:戦争をさせない1000人委員会(tel:03-3526-2920)、解釈で憲法9条を壊すな!実行委員会(tel:03-3221-4668)

戦争する国づくりストップ! 憲法を守り・いかに共同センター(tel:03-5842-5611)